

2020年4月30日

各位

会社名 株式会社西武ホールディングス
代表者 取締役社長 後藤高志
(コード番号：9024 東証一部)
問合せ先 広報部長 川上清人
(TEL. 03-6709-3112)

特別損失（減損損失）の計上および通期連結業績予想に関するお知らせ

当社は、2020年3月期において、特別損失（減損損失）を計上する見込みとなりました。

また、当該特別損失（減損損失）および新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年3月期の通期連結業績予想につきまして、2020年2月6日に公表した数値から下落する可能性が生じたため、下記の通り、お知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

当社は、連結子会社が保有する一部の固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、当第4四半期会計期間において250億円程度の特別損失（減損損失）を計上する見込みとなりました。

減損損失を計上する見込みの主な事業所	計上見込み額（概算）
久邇カントリークラブ（埼玉県飯能市）	119億円
函館大沼プリンスホテル（北海道亀田郡七飯町）	20億円
箱根湯の花プリンスホテル（神奈川県足柄下郡箱根町）	13億円
万座プリンスホテル（群馬県吾妻郡嬭恋村）	13億円
竜王ゴルフコース（滋賀県蒲生郡竜王町）	12億円

2. 2020年3月期通期連結業績予想数値について（2019年4月1日～2020年3月31日）

2020年2月6日に公表した2020年3月期の通期連結業績予想につきまして、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ホテル業における予約キャンセルや予約ペースの鈍化に加え、外出やイベント自粛に伴う行楽需要の低下やレジャー施設のクローズ、イベントの中止など、2020年2月6日時点の想定を超える影響を受けたことにより、営業収益は公表数値5,738億円から210億円程度下落、営業利益は公表数値675億円から110億円程度下落、また親会社株主に帰属する当期純利益は、上記特別損失（減損損失）の影響も含め、公表数値400億円から360億円程度下落する可能性があります。

(参考) 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響（1～3月累計）

セグメントの名称	営業収益への影響額（概算）	営業利益への影響額（概算）
都市交通・沿線事業	▲36億円	▲30億円
ホテル・レジャー事業	▲150億円	▲113億円
不動産事業	▲3億円	▲2億円
その他	▲15億円	▲6億円
合計	▲204億円	▲151億円

※新型コロナウイルス感染症に対する当社グループの対応につきましては、下記をご参照ください。

2020年4月22日公表

[西武グループにおける新型コロナウイルス感染症 感染予防・感染拡大防止対策 および営業内容等の一部変更について](#)

(注)上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上